

事務事業名	真岡市勤労者研修交流施設管理運営事業			担当	産業部 商工観光課 勤労者係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名			
施策名	5	雇用の安定と勤労者福祉の充実		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成12年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市勤労者研修交流施設井頭温泉チャットパレスの設置及び管理条例						
予算科目	1. 一般会計	5. 労働費	1		1		
事業概要	平成12年7月、市が建設した、真岡市勤労者研修交流施設井頭温泉チャットパレスの運営・管理を、第三セクターもおか鬼怒公園開発（株）に委託し、真岡市勤労者研修交流施設井頭温泉チャットパレスとして営業を開始した。 平成18年度から指定管理者制度を導入し、もおか鬼怒公園開発（株）を指定管理者とする協定を令和6年3月31日まで締結している。 指定管理者制度への移行に伴い、利用料金制度を導入し、（1）もおか鬼怒公園開発（株）が施設利用者から利用料を徴収する。利用料は、指定管理者「もおか鬼怒公園開発（株）」の収入とする。（2）もおか鬼怒公園開発（株）は、指定管理者負担金を次のとおり市に納入する。・宿泊利用者1人当たり450円・税引前利益1,000万円以下の金額については、税引前利益の100分の20、1,000万円を超える金額については、税引前利益の100分の30、2,000万円を超える金額については、税引前利益の100分の40。施設の修繕及び更新については、「真岡市勤労者研修交流施設井頭温泉チャットパレスの管理運営に関する協定書」の負担区分により、60万円以上について、市が行う。なお、施設は「真岡市勤労者研修交流施設井頭温泉チャットパレスの設置及び管理条例」により、設置管理している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
30年度実績 1. 指定管理者負担金の受け入れ 2. 施設修繕等 ・ 加圧給水ポンプ装置更新他 ・ スチームコンベクション更新（1台） 31年度計画 1. 指定管理者負担金の受け入れ 2. 施設修繕 ・ 真空ボイラー更新（2基） ・ エレベーター基盤及びコンデンサー更新ほか		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 指定管理者負担金受入額	千円	6,197	9,028	6,886	5,658	2,069
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
・ 勤労者及び企業 ・ 指定管理者 ・ 勤労者交流施設		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 宿泊部屋数	室	18	18	18	18	18
		イ 研修室数	室	4	4	4	4	4
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
勤労者が研修や宿泊をすることで、勤労意欲を高める。		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 研修室の利用者数	人	9,182	8,234	6,616	7,148	8,000
		イ 研修室の利用団体数	団体	494	373	323	386	400
		ウ 宿泊者数	人	13,772	12,982	12,995	11,609	13,500
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
勤労者福祉の充実		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 真岡市は働きやすいと感じている就労者の割合	%	81.0	77.3	80.4	78.7	83.0
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,445	6,685	1,372	11,699	15,000	
	事業費計(A)	千円	3,445	6,685	1,372	11,699	15,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	
		人件費計(B)	千円	335	332	332	334	334
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,780	7,017	1,704	12,033	15,334	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	勤労者懇談会や工業団地立地企業から、宿泊研修施設建設の要望があり、平成12年に開設した。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成15年10月の地方自治法の改正による指定管理者制度の法制化に伴い、平成18年度からもおか鬼怒公園開発（株）を指定管理者とした。平成21年、26年、31年に再度協定を締結し、令和6年3月まで真岡鬼怒公園開発（株）を指定管理者としている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 当施設の運営は、市の勤労者福祉施策の充実と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 勤労者の福利厚生を推進を図ることは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 勤労者のための福祉施策の一環として適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 指定管理者との協定に基づき実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 勤労者の福利厚生事業の推進が図れなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現状でも可能な限り削減している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で運営しており、費用対効果を考えると削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 指定管理者との協定に基づき実施している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							